

モデル事業名	地場産業・地域資源を活かした循環型ローカルコミュニティの構築プロジェクト
活動団体名	むれ源平まちづくり協議会
ホームページ	http://www.genpei.org/
所属/ 担当者名	むれ源平まちづくり協議会 会長 新谷 稔
連絡先	090-1577-0492 n-minoru@housebiso.co.jp
活動地域	香川県高松市牟礼町

● 活動地域の概要

- 牟礼町の世帯数/7,053世帯 (21年3月) ■ 牟礼町の総人口/18,493人 (21年3月)
 - 牟礼町内石材加工組員数/106社 (21年3月) ■ 牟礼町内石材事業所数/約180社 (21年3月)
 - 牟礼町の65歳以上の高齢化率/21.7%
- [65歳以上人口:4,005人/総人口:18,493人] (21年3月)



▲ 駅前の閉店した飲食店



▲ 駅前の閉店した商店と空き地になったままの飲食店跡地

● 活動地域の課題

石材組員数がピーク時は180社(62年)だったが、現況は106社に減少し昨今の不景気で来年度は脱会、廃業を予定している企業もあり、21年度は100社を切る勢いである。

牟礼町は石材の産業が根幹となって発展してきた町であるため、最近では駅前の商店店舗も営業しているのは1件、飲食店も閉店が続いている。全体的に地域の活性度が低下しているのは顕著である。持続的な地域の再生を図るには、石材産業の再生を中心に、賑わいづくり、人づくり、モノづくりなどを複合的に展開し、地域と住民、企業、行政が一体となって全体的な地域の底上げを計ることが20年度の個々の調査事業で明確になった。

● 活動の内容

・平成20年度

1. 地域貢献事業

中学校総合学習支援事業

- ① 源平史跡保存・ガイド事業 ②食育体験事業 ③ものづくりワークショップ ④石材加工ワークショップ
- 地域伝統芸能伝承事業
- ⑤石切り唄伝承事業

2. 地域力再生にぎわいづくり事業

- ①石あかりロード整備事業検討調査 ②第2回あかりサミット運営支援

3. 『産地』としての地域振興事業

- ①石あかりロードイベント参画事業 ②物産品開発調査

4. 産業振興事業

- ①石材商品開発調査研究 ②商品販売販路開発調査研究

・平成21年度

1. 産業振興

- ① 石材建築商材の研究開発 ②コラボレーション石材商品の開発 ③インターネット販売研究調査

2. にぎわいづくり

- ① 石あかりロード全国展開PR拡大事業 ②集客拡大産業コラボ企画展

3. 地域貢献

- ①福祉支援の商品開発 ②石あかりボランティアサポータークラブの創設 ③モノづくり体験ワークショップの創設
- ④地域の担い手人材育成プログラムの開発

4. 地域振興

- ①地域特産品、石材商品の販売調査

● 活動の成果

・平成20年度

地域貢献 中学生を対象に4つのテーマでふるさと学習を総合教育の一環で調査事業として実施し、継続開催の可能性を探ることができた。21年度は具体的な継続開催のためのプログラム開発を実施予定。

地域力再生賑わい事業

地域の賑わいづくりの再生事業として展開している『むれ源平石あかりロード』を活用した『第1回 JAPAN 石あかりコンテスト』および『第2回全国あかりサミット』の開催を通じて地域PRを実施できた。実績としてコンテストは全国8地域からの出展、サミットは10地域からの参加があった。

地域の生活道を石あかりロードとして整備する具体的なプランを、周辺の地域住民と協議を重ね高松市に提案し、平成21年度整備事業に取り上げられた。(全長約1キロ)

『産地』としての地域振興事業

石材産業(牟礼町)と造園産業(鬼無町)とのコラボレーション事業として『石の館100t庵』を設置、地域の方々の協力でお茶会などを開催し石の魅力と造園産業のPRを行なった。

「源平史跡」、「石あかり」ロゴをモチーフにして、地域の飲料・菓子メーカーとコラボして地域商品を開発。

産業振興事業

勉強会を通じて異業種の方々を招聘。ネットワークの構築に繋がり、21年度のコラボ事業に発展。また、高松三越店でキャンペーン商品として採用された



←地域貢献事業
源平史跡のガイド
講習風景



←地域振興事業
コラボ商品
「源平史跡せんべい」

・平成21年度

産業振興

建築士やデザイナーとのコラボ商品開発、
地場産業の成長戦略を目指した企業経営と地域ブランドの勉強会、販路促進事業の開発

にぎわいづくり

石材トレードショーへの出展PR、電気産業界とのコラボ事業『エコ石あかり』の開発展示

地域貢献

小規模福祉事業所の自立支援事業、石あかりサポータークラブの運営の実証実験、
モノづくりワークショッププログラムの開発、ふるさと総合学習のプログラムの確立

産業振興事業

地域特産品の開発、石あかりショップの運営実証実験



←産業振興事業
Gデザイナーとの
コラボ商品



←地域貢献事業
モノづくりワークショップ
風景(香川大学と協働)

● 今後の課題及び展望

・課題

個々の取り組みを整理し、『石材産業振興』『地域振興』『地域貢献』の循環のしくみと、地域NPO、石材組合、石あかり実行委員会の役割分担を明確化。

・展望

全体として石材産業振興や地域振興事業を通じて地域の賑わい活性化、石材商品の販路拡大によって収益を確保し、その一部が地域振興などの地域貢献に転化される仕組みづくりを22年度構築し、地域の中で人・もの・金・情報の循環を促進し持続可能な地域コミュニティーの創造を目指す。